

平成 21 年 11 月

各 位

日本ベンチャーキャピタル協会
会長 吳 雅俊

「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」 研修講座開講に関するご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当会業務につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では今年度も、ベンチャーキャピタリストの育成を目的とする「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」研修講座を開講致します。本研修講座は、平成 14 年度、経済産業省より委託を受け、株式会社富士総合研究所（現 みずほ情報総研株式会社）と共同で実施した「ベンチャーキャピタリスト人材能力開発プログラム開発・実証事業」の成果を活用したものです。ベンチャーキャピタリストに求められる知識・スキルの習得・向上を目的とする講座であり、またベンチャーキャピタリストとしての人的ネットワークの構築にも役立つものとして、皆様のスキルアップのためにご活用頂ければとご案内申し上げます。

本研修講座の詳細については、「別紙」をご参照下さい。本研修講座受講の申込は、添付の「申込用紙」に必要事項を記入の上、ご返送下さい（※）。

なお、「申込用紙」の締め切りは、**12 月 25 日（金）必着**とさせていただきます。

また、本研修講座はケースメソッド方式での定員制を採っておりますので、申込は先着順で受付し、定員 30 名になり次第、締め切らせて頂きます。なお、申込者が 10 名に満たない場合は、ケースメソッド方式での講座運営が困難であるため、実施を見送らせて頂く可能性があります。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解の上、本研修講座をご活用いただければ幸甚に存じます。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展を祈念致します。

敬 具

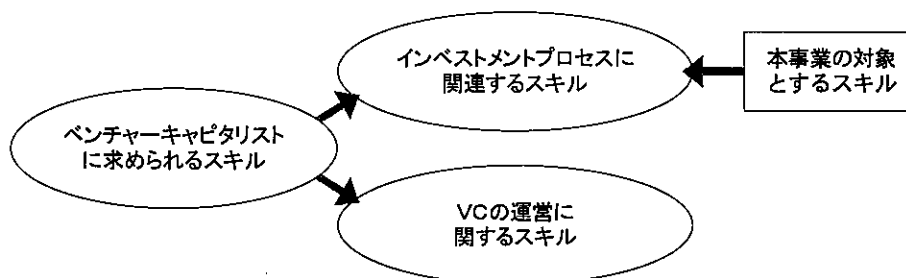
【お問い合わせ先】

一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1
TEL: 03-3595-6616 FAX: 03-3595-6617
E-mail: jimukyoku@jvca.jp
調査・研究委員会 担当: 栗田
企画部 杉田、矢口

研修講座の概要

1. 研修講座の主要対象領域

本研修講座は、VCの投資業務担当者としてのスキル向上を主眼に置いています。したがって、ベンチャーキャピタリストに求められるスキルは多岐にわたりますが、本研修講座では主にインベストメントプロセスに関連するスキルの向上に重点を置きます。



2. 講座内容

本研修講座は、全 8 回の授業で構成されております。各授業の内容は以下の通りです。

	テ ー マ	内 容
第 1 回	ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス	VC がどのようなビジネスモデルに基づいて成り立っているのか、通常どのような投資手法を通じて投資を実施しているのかを概観する。また、ベンチャー企業のファイナンスソース(資金調達源)の中に占めるVCの資金の位置付けを理解する。デットとエクイティの根本的な差を理解し、VCの資金の意義を理解する。
第 2 回	デューデリジエンス&バリュエーション ①投資機会の検討	投資対象先のビジネスプランを評価し、投資の検討を進めるか否かについて検討する。ビジネスプランの評価に際しての目の付け所やデューデリジエンスの方法を学習する。
第 3 回	デューデリジエンス&バリュエーション ②バリュエーション	投資を検討する際に利用されているベンチャーキャピタルメソッドを習得する。また、投資に使用される証券・優先株の意義を理解する。
第 4 回	デューデリジエンス&バリュエーション ③総合(パイアウト)	パイアウトのケースを題材に、デューデリジエンスの重要性とキャッシュフローをベースにしたバリュエーションの手法を学習する。
第 5 回	ディールストラクチャー	VCの投資契約についての理解を深める。投資契約書の主要項目について学習し、各要項がVC投資のリスクを軽減する上で、どのような機能を果たし得るのかについて理解する。
第 6 回	付加価値サービス	VCの付加価値活動について理解する。資金提供だけに留まらないVCの付加価値サービス(取締役会を通じたモニタリング、戦略立案の支援、追加資金の調達、人材の補強など)について理解を深める。
第 7 回	投資回収(Exit) ①IPO	IPOによる投資回収に関して、主要な点を理解する。様々なステークホルダーの利益を調整しながら、投資利益を確保することの難しさを認識する。
第 8 回	投資回収(Exit) ②Trade Sales	Trade Salesによる投資回収に関して、主要な点(M&Aの考え方、IPOとTrade Salesの長短、現金買収と株式交換の長短など)を理解する。ベンチャー企業の経営者とベンチャーキャピタリストの微妙な関係(投資回収・EXITにおける思惑の差)を認識する。

3. 講義形式

本研修講座は、主としてケースメソッド方式で行います。ケースメソッドとは、詳細な状況設定とデータが与えられたケースを題材に、主人公の立場から与えられた課題を検討する学習手法です。実際のビジネスの現場における意思決定プロセスをシミュレートすることができるため、より実践効果が高いとされています。

ケースメソッド方式では、課題について講師や他の受講者と議論を行い、様々な考え方を理解することが重要になります。したがって、事前にケースを熟読し、課題に対する回答を提出した上で、講義に臨むことが前提となります。

また、講義時間は講師や他の受講者と議論をする場にあてられるため、基礎的な知識に関するレクチャーは行いません。従って、これらの点については、「事前学習のポイント」(後述)をご参照頂き、事前に配布する教材や MBA 関連テキスト等で、あらかじめ独習して頂くよう心がけてください。

4. 受講対象者

(1) 受講対象者の属性

本研修講座は、「ベンチャーキャピタリスト経験の無い方から、2～3年程度投資業務の実務を経験したベンチャーキャピタリストまで」を主対象としています。

(2) 事前学習のポイント

本講座の受講にあたっては、事前に配布する教材や関連テキスト等で独習し、「企業経営等の基本的な知識を有し、関連する基礎的スキルを身に付けていること」が前提になります。事前学習のポイントについては、以下をご参照下さい。

【事前学習のポイント】

①ファイナンス・アカウンティング

- ROE、ROA、PBR などの基本的な財務分析についての知識
- FCF、WACC、PER、PSR、EBIT、EBITDA など、企業価値評価の前提となる指標についての知識
- DCF、マルチプル、APV などの一般的な企業価値評価手法についての知識

②マネジメント

- 競争戦略、事業戦略、SWOT 分析、3C 分析、マーケティング戦略など、企業のマネジメントに関する一般的な手法についての知識

③法務

- 議決権、強制転換、希薄化防止、ストックオプションなど、タムシートに記される基本的な条項についての知識

5. スケジュール

本研修講座の日程は下記の通りです。

【日程】

2010年1月30日(土)から2月20日(土)までの期間、開講致します。開講時間は午前は、原則9:30から12:30、午後は、原則14:00～17:00です。日程の詳細については、下表をご参照下さい。(第1回は、9:00から12:30)

	日付	テーマ
第1回	1月30日(土)午前	「ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス」
第2回	1月30日(土)午後	「デューデリジエンス&バリュエーション ①投資機会の検討」
第3回	2月6日(土)午前	「デューデリジエンス&バリュエーション ②バリュエーション(企業価値評価)」
第4回	2月6日(土)午後	「デューデリジエンス&バリュエーション ③総合(パイアウト)」
第5回	2月13日(土)午前	「ディールストラクチャー」
第6回	2月13日(土)午後	「付加価値サービス」
第7回	2月20日(土)午前	「投資回収(Exit) ①IPO」
第8回	2月20日(土)午後	「投資回収(Exit) ②Trade Sales」

【募集定員】

本研修講座の募集定員は、30名とさせて頂いております。募集定員を設定している都合上、期日前に応募を締め切る場合もございますので、予めご了承下さい。

【注意事項】

受講申込者が10名に満たない場合は、ケースメソッド方式での講座運営が困難であるため、実施を見送らせて頂く可能性があります、予めご了承下さい。

6. 講師のプロフィール

本研修講座の講師は、VC 業界の中でも一線でご活躍されている有志の方々をお願いしております。各回の講師のプロフィールについては、下表をご参照下さい。

	テ ー マ	講 師	プロフィール
第 1 回	ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス	秦 信行 (國學院大學)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了後、株式会社野村総合研究所入社。 ➤ 日本合同ファイナンス株式会社(現株式会社ジャフコ)に出向後、審査部長、海外審査部長などを歴任。 ➤ 現 國學院大學経済学部教授。専門はベンチャーファイナンス、コーポレートファイナンス。
第 1 回	(ゲスト・カンセクション) Venture Capital という Business Model は生き残れるか?	樋原伸彦 (立命館大学)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1988 年東京大学教養学部教養学科(国際関係論)卒業、東京銀行(現三菱東京 UFJ 銀行)を経て、2002 年コロンビア大学 Ph.D. ➤ 2002 年より 2006 年まで、Edwards School of Business, University of Saskatchewan(カナダ)准教授。 ➤ 2006 年より立命館大学経営学部准教授(現在同大学テクノロジー・マネジメント研究科にも併属)、VC、Financial Intermediation(金融仲介論)を専門とする。
第 2 回	デューデリジェンス & バリュエーション ①投資機会の検討	松澤芳邦 (三菱 UFJ キャピタル)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1994 年慶應義塾大学法学部卒業、三菱銀行(現三菱東京 UFJ 銀行)入行。神保町、深川支店にて融資業務に従事。 ➤ 1998 年、東京三菱証券(現三菱 UFJ 証券)に出向。金融法人向け債券トレーディング業務に従事。 ➤ 2003 年、ダイヤモンドキャピタル(現三菱 UFJ キャピタル)に出向。ベンチャー企業に対する投資育成業務に従事し、31 社に投資を実施。現在、投資第一部副部長。
第 3 回	デューデリジェンス & バリュエーション ②バリュエーション	有本雄観 (日本アジア投資)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1998 年、日本アジア投資株式会社入社。投資本部大阪支店に配属以来、東京・大阪の投資チームで VC 投資業務、およびファンドの設立・運營業務に従事。現在、アドバンスドテックファンドチーム ゼネラルマネージャー。 ➤ 主な投資分野は、Green Tech 関連、IT 関連。 ➤ 通算 9 社、現在 3 社の社外取締役就任。 ➤ 1998 年、早稲田大学法学部卒。
第 4 回	デューデリジェンス & バリュエーション ③総合(バイアウト)	玉澤康一 (大和 SMBC キャピタル)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1997 年、山一証券入社。大阪資本市場部にて上場企業向け各種ファイナンス提案業務に従事。 ➤ 1998 年、日本インベストメント・ファイナンス(株)(現大和 SMBC キャピタル(株))入社、ベンチャーキャピタル投資、バイアウト投資を担当。 ➤ 投資先 4 社の社外取締役に就任(ヒガ・インダストリーズ、サンダンス・リゾート、マツダレンタカー、MS&Consulting)。 ➤ 1997 年、一橋大学経済学部卒。

第5回	ディールストラクチャー	深川哲也 (MI コンサルティング グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 三菱銀行(現東京三菱銀行)、東京の McKinsey & Company, Inc.、ニューヨークと東京の J. P. Morgan を経て、1999 年、ウォーバーク・ピンカス入社。マネージング・ディレクターとして投資業務全般を担当。 ➤ 2005 年より、クレセント・パートナーズの共同代表としてプライベートエクイティ投資の助言業務を担当。 ➤ 2006 年投資顧問会社アプローズキャピタルマネジメントを設立。 ➤ 2007 年 MI コンサルティンググループ取締役に就任し企業の提携、合併買収の助言を行い現在に至る ➤ 1980 年東京大学経済学部卒。1987 年ハーバードビジネススクールにて MBA 取得。
第5回	(ダブスタビライゼーション) Due Diligence & 投資契約	後藤勝也 (AZX Professionals Group)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1993 年 司法試験合格 1994 年 東京大学法学部卒業 アンダーセン・コンサルティング(現、アクセンチュア)入社(経営戦略部門) 1996 年 司法研修所入所 1998 年 長島・大野法律事務所(現、長島・大野・常松法律事務所)入所 2001 年 AZX Professionals Group 創設。 ➤ 弁護士として、ベンチャー企業及びベンチャーキャピタルへの法務アドバイザリー業務、ファイナンス及び M&A のスキーム構築、証券会社の IPO にかかる法務 DD 等、ベンチャー企業を中心に、リーガルサービスを提供。
第6回	付加価値サービス	近藤直樹 (アントキャピタル・パートナーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 米国 NY の法律事務所を経て、日米のベンチャー企業の副社長、COO を歴任。 ➤ 2001 年アントファクトリージャパン(現アント・キャピタル・パートナーズ)に参画、経営企画担当ヴァイスプレジデントに就任。リテール、メディア、コミュニケーション、IT セクターで PE/VC 投資を手がける。現在は、同社のパートナー。バリオセキュア・ネットワークス株式会社代表取締役 CEO も務める。 ➤ 米ジョージタウン大学ビジネススクール、米アメリカン大学ロースクール卒。ニューヨーク州弁護士・米国法学博士。
第7回	投資回収 (Exit) ①IPO	仮屋蘭聡一 (グローバルキャピタル・パートナーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 株式会社三和総合研究所でのコンサルティング、株式会社グロービスのベンチャーキャピタル事業設立を経て、1999 年より、エイバックス・グロービス・パートナーズ(現グロービス・キャピタル・パートナーズ)パートナー。 ➤ 慶応義塾大学法学部卒、米国ピッツバーグ経営大学院修士課程修了(MBA)。 ➤ 専門領域は、メディア・コンテンツ、サービス全般、エンタープライズアプリケーションなど。 ➤ 著書：『ケースで学ぶ起業戦略』(日経 BP 社)、『MBA ビジネスプラン』(ダイヤモンド社)、『ベンチャーキャピタリストが語る起業家への提言』(税務研究会)、など。

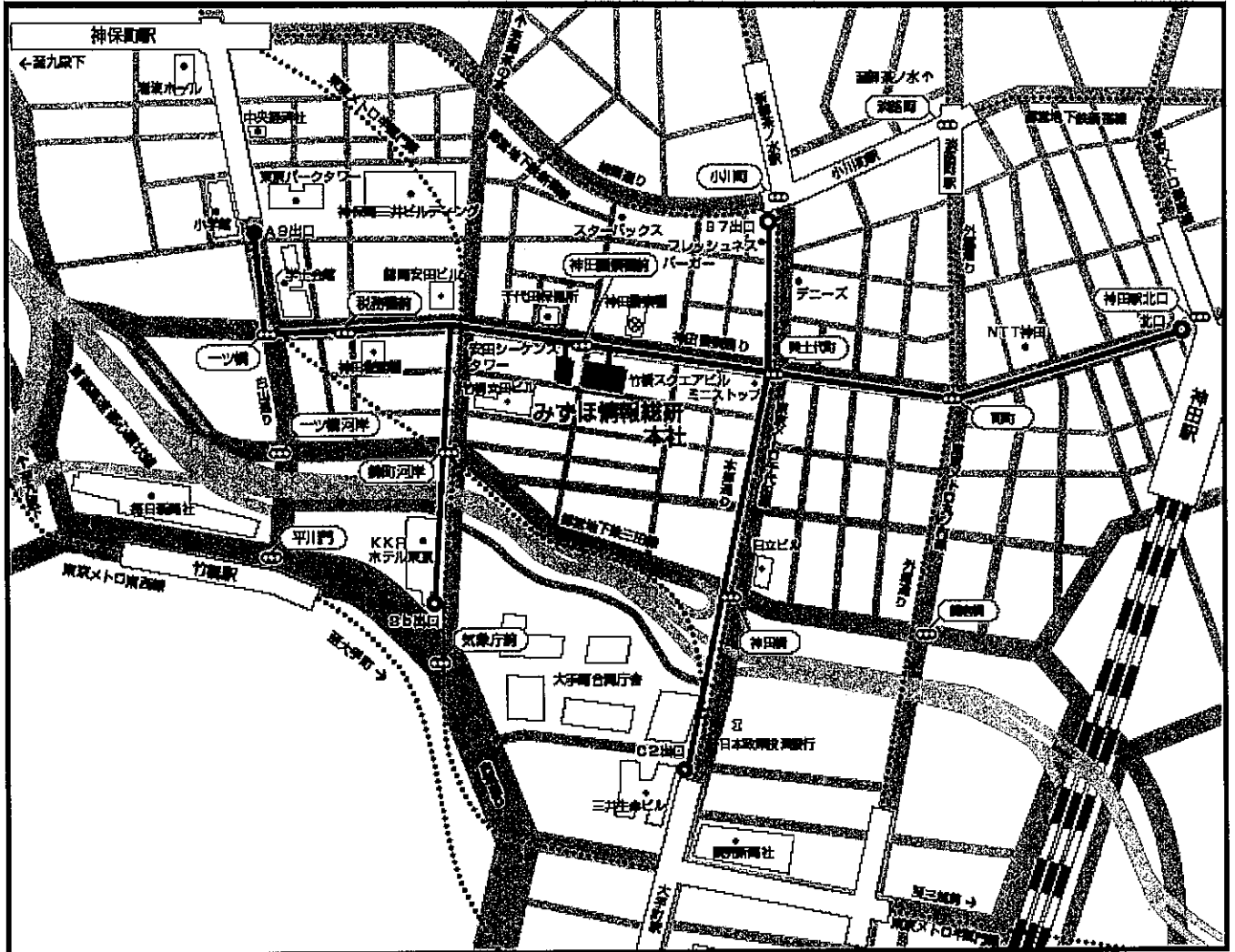
第 8 回	投資回収 (Exit) ②Trade Sales	<p>深沢 英昭 (東京海上キャピタル)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1978 年日本長期信用銀行 (現新生銀行) 入行 ➤ 1980 年年代半ばから M&A アドバイザリー業務、事業再生業務に一貫して従事。 ➤ 1999 年日本興業銀行 (現みずほコーポレート銀行) に転職。興銀・みずほ証券で M&A アドバイザリー業務を続ける。 ➤ 2004 年東京海上キャピタルにマネージングパートナーとして参画。2005 年 6 月に取締役社長に就任し、現在に至る。 ➤ 日本プライベート・エクイティ協会理事 ➤ 東京大学経済学部卒業 ➤ シカゴ大学ブーススクール MBA
		<p>澤 詩朗 (KPMG FAS)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1998 年、日本長期信用銀行 (現新生銀行) 入行。本店営業第四部にて融資業務を担当。その後株式会社アライアンス (M&A プティック) に参画し、一貫して M&A アドバイザリーに従事。 ➤ 2009 年 KPMG FAS に入社。コーポレートファイナンス部門において、引き続き M&A アドバイザリー業務を行っている。担当業界は、金融/PE、小売流通、食品等の消費者関連業界を担当。 ➤ 1998 年同志社大学法学部卒業

7. 講座開設場所

本研修講座は、みずほ情報総研株式会社本社ビル(東京都千代田区神田錦町 3-1 安田シーケンスタワー)にて開催致します。詳細については、下の地図をご参照下さい。

受講者数によっては、会場が変更(日本ベンチャーキャピタル協会会議室:東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 6階)となる可能性がありますので、予めご了承下さい。

【講座開設場所(地図)】



8. 受講料

本研修講座の受講料は、360,000円(税込み、教材費等を含む)となっております。申込用紙を受領後、請求書を発送させていただきますので、所定の口座にお振り込み下さい。

以上

短期集中コースの設置検討に係る事前アンケートのお願い

前記の通り、本研修講座は1月上旬から8週に亘る通学コースの運営を予定しておりますが、通学コースへの派遣が困難な企業の方から、別途、集中形式のコース開催へのご要望を頂いております。このため、当会と致しましても、地方に所在する企業に所属される方への門戸を開くため、受講希望の人数が一定数に達した場合、春季(4月から6月、日程は未定)において短期集中コースの運営を検討する予定です。

これは、午前、午後に1コマずつ講義を実施することで、①2週に亘る土日の計4日間(例えば、5/22、23、29、30の4日間)で全ての講義を修了する形式や、②土日を含む連続4日間(例えば、木金、土、日の4日間)で全ての講義を修了する形式や、③講義を半分程度に縮小して実施する形式などのものです。

つきましては、お手数ですが、短期集中コースへの派遣を希望される場合、本紙の下欄に予定人数等をご記入頂き、事務局(みずほ情報総研)までFAX下さいますようお願い致します。一定人数を超えた場合、皆様の都合の良い形式、開催地、日程を調整した上で、集中コースの運営を致します。なお、本短期集中コースは通学コースへの派遣が困難な地方の企業の方に対して、社員の教育研修の機会を付与することを目的に実施されるもので、在京の企業の方は基本的に対象外となりますことご了承ください。

日本ベンチャーキャピタル協会 宛 fax: 03-3595-6617

短期集中コースへの派遣予定 通知票

- 短期集中コースへの派遣を () 名予定している
- コース運営については (全講義コース , 短縮講義コース) を希望する
- 開催日程については (土日のみコース , 平日を含む連続コース) を希望する
※いずれかに○をつけて下さい
- 開催日程については (, ,) の4日間を希望する
- 開催地については (東京 , 大阪 , 名古屋 , その他 ()) を希望する
※いずれかに○をつけて下さい

<ご要望、ご意見> ※集中コースについてご要望やご意見があれば、ご自由にお書き下さい

<ご連絡先> 貴社名
ご氏名

tel. / e-mail

「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」
研修講座 申込用紙

本研修講座の受講を希望される場合には、本申込用紙にご記入の上、**12月25日(金)までに**、下記宛先までご返信願います(E-mail、FAXでも可。企業単位でのお申込みをご希望される場合は、事前にお問い合わせ下さい)。

なお、本申込用紙への記載事項については、本研修講座の円滑な運営を図るために活用するものであり、同目的外で使用することは一切ございません(記載事項に含まれる個人情報については、ご本人の同意がある場合を除き、第三者に情報提供することはありません)。

【申込用紙送付先】 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会
〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1
TEL:03-3595-6616 FAX:03-3595-6617
E-mail: jimukyoku@jvca.jp 担当：栗田

■参加者の基本情報:

注記のない限り、全ての項目を記入、又は、該当する選択肢の□に×を付けてください。

氏名	フリガナ	(名)	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
	(氏)					
E-mail			生年月日	西暦	年	月 日
勤務先	(企業名)					
	(部署名)		(役職名)			
	(住所) 〒					
	(電話番号)		(ファクシミリ)			
教材の送付希望先	<input type="checkbox"/> 上記勤務先への送付を希望		<input type="checkbox"/> その他の住所への送付を希望			
教材等の送付先情報 【勤務先以外の住所への送付を希望する方のみ】	(住所) 〒					
	(電話番号)		(ファクシミリ)			
ベンチャーキャピタリストとしての投資業務の実務経験年数			年	ヶ月		

■講座運営に関わる上記基本情報の第三者提供についての承認:

講座運営は、育成プログラムの共同開発者であり、当会の賛助会員でもある みずほ情報総研株式会社にその一部を委託しております。一方、個人情報保護法の施行により、教材送付や課題の連絡、講義中に開催を予定しているグループワークのためのグループ編成、出欠確認、その他の諸連絡等、円滑な講座運営を目的とした みずほ情報総研株式会社 への上記基本情報の提供については、ご本人の同意が必要となっております。つきましては、趣旨をご理解の上、同意いただける場合は、下記の□に×(承認印に代替するチェック)を付けてください。

円滑な講座運営を目的とした「みずほ情報総研㈱」への上記基本情報の提供について同意します。

■ 今後 JVCA や運営会社から研修案内等を直接上記メールアドレス等に送付することについて

希望する 希望しない 左記の□に×(承認印に代替するチェック)を付けてください。